

クルマの“窓”から経済をのぞいてみよう —企業の役割と経済活動の在り方—

(総授業時数：7時間)

実施学年、教科等

第1学年 公民科「現代社会」

単元の目標

- (1) 現代の経済社会について、自動車を購入する際の問題点や、自動車産業が資本主義の発展に果たした役割、社会と自動車の関係等を様々な形で考えさせ、経済活動の在り方について考えようとする態度を養うことができるようにする。
- (2) 自動車購入のための資料を、購入資金や優遇税制、燃費などの諸条件を考慮しながら適切に収集・活用し、自動車選びの過程で考えたことを発表したり記録したりして、金銭を使う際の自己決定の仕方を身に付けることができるようにする。
- (3) 自動車をめぐる個人、企業や公的部門の経済活動について、自己を取り巻く社会・経済的状況を踏まえながら理解させ、その知識を身に付けることができるようにする。

学習の評価

- (1) 現代の経済社会における個人、企業や公的部門の経済活動に対する関心を高め、経済活動の在り方について考えようとしている。(ワークシート)
- (2) 現代の経済社会における個人、企業や公的部門の経済活動に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、学習に役立つ情報を主体的に選択して活用している。(ワークシート)
- (3) 現代の経済社会における技術革新と産業構造の変化、企業の働き、公的部門の役割と租税、金融機関の働き、雇用と労働問題、公害の防止と環境保全について理解し、その知識を身に付けている。(ワークシート)

展開の特色

- (1) 家庭科や中学校社会科公民的分野における学習の成果を踏まえながら、「現代社会」の中項目「現代の経済社会と経済活動の在り方」を金融学習の観点から学習するために、自動車をめぐる経済活動を取り上げる。
- (2) 将来的な自家用車の購入に照準を合わせ、自家用車を購入する場合や保有した場合の諸費用や諸観点について考えさせるだけでなく、自動車産業が技術革新や産業構造の変化に果たした役割、自動車企業の国内的・国際的な動向、自動車をめぐる産業政策や優遇税制、環境保全のための企業努力などについて理解し、考察する授業を展開する。
- (3) 自家用車という身近な存在を通して、自らの考える望ましい社会の形成に主体的にかかわる意欲や態度を育てることをねらいとしている。

「学校における金融教育の年齢層別目標」の該当項目

Aーウ・エ、Bーイ・ウ・エ、Cーア・イ、Dーウ

学習内容のキーワード

自動車、価格、購入資金、ローン、大量生産、クルマ社会、所有費用、外国車、自由化

●指導計画

時数	ねらい	学習内容・学習活動	◆金融教育の視点	★指導上の留意点	その他(資料等)
1 2	<ul style="list-style-type: none"> ・クルマって自分に必要な乗り物? ●個人や社会にとって自動車が果たしている役割やもっている意味を考えさせる。 ●実際に自動車の購入を考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●個人や社会にとっての自動車の意義・役割について話し合い、実際に自動車を購入する際に必要なことを調べる。 ・現在の家族、将来の自分や家族にとって自動車がもっている役割、現代社会の中で自動車が果たしている役割について思い浮かんだことをワークシートに記入し、発表する。 ・将来の自家用車の購入の要不要について一人ずつ理由と意見をまとめた上で、賛否ごとにグループを作ってその理由を話し合う。 ・各グループで話し合ったことを発表し、自家用車を購入する際ネックになることを検討し、ワークシートにまとめる。 ・もし自分が購入するとしたらどのような自動車を購入するか、用途を考えて決定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆自分が将来購入する予定の自家用車や、現在家庭で保有する自家用車の価格はいくらかなのか、どのような方法による購入なのか、家計に占める比重はどのくらいなのか、具体的な数字に基づいてクルマの果たしている役割が考えられるようにしておく。 ◆現金やローンなどの購入資金と将来の生活形態に基づく用途を考えて意思決定をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ★保護者に現在保有している自家用車の購入価格や方法などをあらかじめ聞いておくようにしておく。 ★あらかじめ生徒に新聞・雑誌の広告やディーラーのパンフレットなどを集めさせ、どのようなクルマが登場し、それは何に配慮しているのかを考えられるようにしておく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・館内端『すべての自動車人へ 自動車の存亡と環境・エネルギー危機をめぐって』(双葉社、平成11年)
3 4 5	<ul style="list-style-type: none"> ・クルマが社会を動かす? ●自動車が社会にもたらした影響とその功罪について理解させる。 ●自動車と社会の関係について様々な観点から考察させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自動車が個人や社会にもたらす影響を知り、自動車をめぐる諸問題について調べる。 ・自動車開発と資本主義発展の歴史について、視聴覚資料を視聴し、流れ作業方式による大量生産が大量消費社会やクルマ社会をもたらしたこと、その功罪について理解する。 ・自動車をめぐる企業活動や制度や諸問題について、グループごとに調査活動を行い、成果を発表する。 <ul style="list-style-type: none"> ▽車検制度について調べるグループ ▽自動車保険について調べるグループ ▽自動車にかかる租税について調べるグループ ▽自動車の燃料について調べるグループ ▽自動車が原因で起こる交通・環境問題について調べるグループ ・自動車が家計や経済社会に与える影響について、各自ワークシートにまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆自動車の流れ作業による大量生産の実現が、労働者の賃金やレジャーの流行など、労働・消費両面の経済生活を劇的に変えたことに気付かせる。 ◆車検や税などの諸費用を算定したり、公害による経済的損失や交通事故などに備える損害保険について調べたりし、クルマを所有することに伴う個人的・社会的費用について考察させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ★自家用車開発と資本主義発展の歴史について、視聴覚資料を用いながら確認する。 ★行政規制やクルマ税制、新燃料の開発やグリーンカーなど企業の社会的責任にも気付かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・NHKスペシャル『世紀を越えて プロローグ 20世紀 欲望は疾走した』(平成11年)
6 7	<ul style="list-style-type: none"> ・いろんなクルマがなぜ自由に買えるようになったのだろうか? ●自家用車の選択や購入のスタイルが変化してきたこと的背景について考えさせる。 ●自動車の購入の仕方が経済規制緩和や国際関係の変化によることを理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●外国車を含む多種多様な自動車が購入しやすくなった理由を調べ、経済社会や制度の変化が深くかかわっていることを知る。 ・自家用車を新たに購入したり買い換えたりするときに、外国車や逆輸入車を購入したり、ローンやリースで購入したりする場合を想定し、国産車を現金で購入する場合と比べてどう違うのかを調べる。特に次の点について資料を収集する。 <ul style="list-style-type: none"> ▽外国車や逆輸入車はどの国のどの企業のどの工場から輸入されるのか。 ▽国産車の工場と比べて高性能・低価格を実現するためにどのような企業努力がなされているのか。 ▽ローンやリースのほかにもどのような購入システムがあるのか。 ・クルマの購入の仕方が変化し、以前より外国車が購入しやすくなった背景には金融の自由化や国際化があることを学習する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆資本、金融の自由化に伴って、自家用車の購入方法や生産拠点、生産システムに様々な変化が起こっていることを理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ★世界各国の自動車産業を理解し、自動車産業間の競争・再編の動向が国際経済の大きな問題になっていることを理解させる。 	

1 金融教育のねらいと基本的性格
2 金融教育の目標と方法
3 金融教育を支援する関係機関等の活動
4 金融教育の指導計画の作成と実施に向けて
5 小学校における金融教育
6 中学校における金融教育
7 高等学校における金融教育

1 金融教育のねらいと基本的性格
2 金融教育の目標と方法
3 金融教育を支援する関係機関等の活動
4 金融教育の指導計画の作成と実施に向けて
5 小学校における金融教育
6 中学校における金融教育
7 高等学校における金融教育

資料

資料

本時の目標

ア：自家用車を購入してから納車されるまでを想定し、それぞれの場面での選択を積み重ねる作業を通して、お金に関する自己決定について学ぶことができるようにする。
 イ：自分の考える自動車のイメージを通して、自動車と現代社会の関係をどうとらえるべきか考察することができるようにする。

●本時の展開

	学習内容	●学習活動	◆金融教育の視点	★指導上の留意点	その他
導入	・自動車の個人的な意義や社会的な役割について前時の授業を確認する。	●前時で話し合った、自分や家族、将来の自分や家族にとってクルマがもっている意義や役割、現代社会の中で自動車が果たしている役割について出てきた意見を確認する。		★前時の授業を想起させ、生徒個々のクルマに対するイメージを明確にさせる。	
展開	・自家用車の購入を決定し、自動車を購入する際に期待することや考慮すべきことを検討する。	●もし自分が購入するとしたらどのような自動車を購入するか、現在の家庭保有の自家用車の価格・用途や、将来自分が購入するタイミングやその時点での用途を考えて決定する。 ●生涯賃金や家族構成をイメージしながら予算を考える。次のような観点で選択を積み重ねる。 ▽新車か中古車か ▽国産車か外国車か ▽どのメーカーがいいか ▽何年ごとに買い換えるか ▽軽乗用車か普通乗用車か ▽様々な車種 セダン・ワゴン・RV・スポーツカー・キャンピングカー・クーペ ▽独身用（恋人あり・なし）、家族用（親・妻、子供の人数） ▽ドライブ・運搬・通勤 ▽生活に利便をもたらすか ▽環境にやさしいか ●自動車を購入する際に期待することや考慮すべきことを検討し、ワークシートにまとめる。	◆自動車の購入にかかるお金は本体の購入価格だけでなく、車検や税など諸費用がかかること、その後も駐車場代や車検、自動車税などの維持費がかかっていくことにも気付かせる。 ◆グリーン税制やハイブリッドカー・エコカーなどの存在、新車半額（3年間リース）システムなど価格設定をめぐる自動車ローンの新しい動向にも注目させる。	★新聞・雑誌広告やメーカーやディーラーのパンフレットなどをあらかじめ多数用意させ、様々な観点から検討できるようにする。 ★ワークシートをあらかじめ作成しておき、生徒がまとめやすく、他の生徒・グループの意見も書き込めるような配慮をしておく。	・家庭科で学ぶ生活設計や総合的な学習の時間の内容と関連付けさせるようにする。
まとめ	・自動車やクルマ社会が個人や社会に与える負の影響に気付かせる。	●ワークシートの内容をいくつか発表してもらい、自動車が果たして私たちの生活に利便をもたらすだけなのかを考えさせる。	◆原油価格の高騰や環境汚染との関連だけでなく、交通事故の増加などクルマ社会をもたらすひずみが、現代社会の維持にかかる経済的費用を増加させていることにも気付かせる。		





1 金融教育のねらいと基本的性格

2 金融教育の目標と方法

3 金融教育を支援する関係機関等の活動

4 金融教育の指導計画の作成と実施に向けて

5 小学校における金融教育

6 中学校における金融教育

7 高等学校における金融教育

資料

1 金融教育のねらいと基本的性格

2 金融教育の目標と方法

3 金融教育を支援する関係機関等の活動

4 金融教育の指導計画の作成と実施に向けて

5 小学校における金融教育

6 中学校における金融教育

7 高等学校における金融教育

資料

●教材・資料等 (本時の授業で用いる教材や資料、ワークシート等)

クルマの“窓”から経済をのぞいてみよう

1 年 組 番 氏名

- 家族から話を聞き、自家用車が果たしている役割について記入しよう。また、現代社会において自動車もっている意義について考えたことを記入しよう。

家族の中で果たす役割

社会の中で果たす役割

- あなたは将来、自家用車が必要だと思えますか？ その理由と、自分の考えを記入しよう。

- 自家用車を購入する際、ネックになることは何？ グループごとに話し合った結果を記入しよう。

- さあ、実際に自家用車を購入することを想定して、将来の家族構成や生涯賃金を考慮しながら、具体的な条件を決めていきましょう。

◆新車か中古車か 購入システムは？

◆国産車か外国車か 外国車の性能と販売システムは？

◆どの車種にするか 誰のために買う車ですか？

◆使い途は？ どのような利便をもたらすか。

◆燃費はどうですか？ 環境に配慮した設計か。

↓ ↑

国内・国外どのメーカーがよいですか？ 企業活動・業績について調べたことは？

グリーン税制について調べてみよう。

ハイブリッド・エコカーについて調べてみよう。